
退屈な日々？

雪町

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

退屈な日々？

【Zコード】

Z5446D

【作者名】

雪町

【あらすじ】

主人公が無理矢理ドタバタに巻き込まれるお話かな?ドタバタラ
ブコメディーになるはずです

プロローグ

高校2年までは退屈だった……
いつもと同じ事を繰り返してた
べつにモテたわけでもないし、特殊な能力があつたわけでもない
ふつうの人生だった
なのに、高校2年のクラス替えでどたばたに巻き込まれることにな
った……

キャラ紹介1

神崎 零 （かんざき れい）

16歳

見た目：黒髪で美形

性格：めんどくさがり

一言：

「ふあ～ 眠つ」

神崎 奈美 （かんざき なみ）

18歳

神崎 零の姉

見た目：美人 黒髪

性格：ブラン

一言：

「零、一緒に寝よ」

紙谷 亮 （かみたに りょう）

16歳

見た目：顔は普通・赤い髪の毛

性格：つねにハイテンション

一言：

「みんな！俺についてこー！ー！」

綾崎 梨華（あやさき りか）

16歳

見た目：美人じゃなくてかわいい感じ

性格：誰彼かわまずにいろいろな事に巻き込むトラブルメーカー

一言：

「次は何をしようかなあ？？」

大塚 久美（おおつか くみ）

16歳

見た目：綾崎に負けないくらいの容姿

性格：おとなしい・その性格のせいで綾崎にたびたびまきこまれる

一言：

「梨華ちゃん、ダメだよお～」

霧丘 龍一（きりおか りゅうじ）

16歳

見た目：銀髪・ヤンキー

性格：ヤンキーだが、自分から暴力は振るわない、心優しい青年・

神崎 零の親友

一言：

「零、さつさと学校に行くぞ！！」

今はまだこれだけだけ、キャラクターデザインを増やすつもりです。^ ^

キャラが増える」とキャラ紹介をしていました。

「こんなキャラがいたらもっと面白くなるんじゃない?」などの感想もよろしくです。

まあ、気が向いたら感想・応援など送つて来て下せこ(>_<)

1：退屈な日々、しあわせつゝ（前書き）

少し変になつた……

1：退屈な日々、しあわせじょ

夢を見た……

平穏でぐだりなくて退屈な日々が終わる夢を……

「こやはは、行くよお～」

「やめろ、俺を巻き込むな……」

・・・・・・・・・・

「はつ？！ なんだ今の夢は…！」

新学期の初日だといつのに変な夢をみてしまった……

おつ
そういうえば、自己紹介をしていなかつたな……

俺の名前は神崎 零だ。姉が一人いる

親は死んだわけじゃないぞ、仕事が忙しくてなかなか帰つてこない
だけだ

「れへー」

「…………こつまに部屋に入つて來た？」

「えへーっと部屋に入つて來た？」

「えへーっと……零が読者に説明している間だつたかな？」

「そつか……ならわつと出でていけ着替えたい……」

「えつ！ 着替えるの？！ なら、お姉ちゃんここにこる
「黙れ、出でけ！」

ドタバタ……

ガチャ……

ふう、ラストは武力行使になつたが致し方ない……
あのままいたら、俺に危険が及ぶからな……

そうそう、今の女性は俺の姉の神崎 奈美だ
弟に危害を加える危ないやつだ……

「私は危ない人じやないわよ…… ただ、零のことが好きなのよ！
！」

「また、帰つて来たのか…… しかも、帰つて来て初つ端から危な
いことを言つくな……」

なんなんだ、いつたい……
朝から疲れる……

俺が通つてる学校は、悲しいが姉の奈美と同じだ

「何が悲しいの？？ お姉ちゃんと同じでうれしいでしょ？？
「まったくうれしくない！！」

その後の会話を無視して学校に行つた……

新学期のはじまりだ

べつに退屈な日々が終わるとかは思っていない……
てか、退屈な日々でいい
めんどくさい事は嫌いだしね

新しいクラスに行ってみると知り合いがいた

「よひ、霧丘」

「おひ、零」

「…………」

「…………」

「…………」

「…………」

二人とも会話するほうじやないので仕方ない……

会話を終わらせて自分の席に座ると……

グチャ

ん?

今の音はなんだあ?

そして、お尻に違和感が……

「こやははは 引っ掛けたあ！」

引っ掛けただと?

ということは、これはイタズラってことか……

「ナイス、綾崎！！ これで目標の人数に達成だ！！！」

誰だ？

あの赤髪と、綾崎って呼ばれた女は？

「零、ズボン洗つてこい……

あいつらは俺が叱つておくへ

「ああ、頼むぞ。霧丘」

そして、教室を出た。

出た直後に、男女二名の悲鳴が聞こえたようなきがした……

まあ、いつかあ

イタズラされたんだし……

霧丘に躊躇をしどいておひらおひら……

はあ～

初日から虐められるなんて

退屈な日々から、恐怖の日々に変わったのか？

そうなつたら、作者怨んでやるからなーー！

2：イタズラからせじめる出でこもある……かも（前書き）

久々の更新

2・イタズラからぬじある出来事もある…………かも

Side 神崎

いやあ～

みごとにイタズラ（いじめ）に引っ掛けちまつたよ
まさか、椅子の上にシュークリームが置いてあるなんて……
おかげで、制服が生クリームでべちゃべちゃだよ！……
まあ、あの一人は霧丘がどうにかしてくれているだろう……
さあて、制服のズボンを洗うか……

Side 霧丘

「お前ら、イタズラでもやり過ぎだろ……」

「つっせえー！ 見た目ヤンキーの真面目野郎！……」

「そつよー イタズラに引っ掛けられた奴は黙ってなさい……」
はあ……

疲れる……

俺が来た時にも、自分の席の上にエクレアが乗っていた……まあ、
引っ掛けからなかつたけどね

「お前ら、神崎が帰つて来たら謝れよ……」

あいつに嫌われたら終わりだからな」

「ふん、イタズラに引っ掛けかるやつが悪いんだよ」

「そつよ、そつよ」

「こつら、ダメだな……

もう、ほつとこつ……

さて、教室に戻って来たものの……
あの二人は暴走中……

「霧丘…… これはどういうことだ?…」

「ああ…… 神崎、すまない説教してもムリだった」

「そうか…… まあ、俺には関係ないがな」

さつさと、席につく俺

「ああ！ サッキ引つ掛けたバカだ」

さつきの悪戯っ子の綾崎だつたかな？

「何かな？」

少し…… ジャなくかなり不機嫌な声で聞いた

「バー カ、バー カ！」

チチ……

さすがにこれはムリだろ……

皆さん、よく考えてください

悪戯されて制服が汚れて、それを洗つて帰つてきました

帰つて来たら、教室はうるさいし

そのうえ、謝らずにバカだよ？

さすがに心の広い俺でもムリだよ

「お前、謝らずにバカって…… 僕をなめてるのか??」

「おい！ 神崎！！」

霧丘が何か言つてるがさすがに我慢できんぞ……

「だから、さつきも言つたけど引つ掛けたほうが悪いんだよ

今度は赤髪の名前は…… たしか紙谷だつたな

「おまえらな…… 地獄を見せてやる……」

と思つた瞬間

「おーい、席につけ！」

ちっ、このタイミングで先生が来るとは
まあ、いい

後ではつきりさせよ」
……

誰に悪戯したのかを……

2：イタズラからはじまる出来事もある…………かも（後書き）

最後が変な終わりかたですみません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5446d/>

退屈な日々？

2010年10月10日06時02分発行